

氏名

問 題 (20点) 次の取引を仕訳し、買掛金勘定および買掛金元帳に転記しなさい。

- 4月3日 春山商会から商品¥155,000を仕入れ、代金は掛けとした。
 5日 先に春山商会から仕入れた商品¥5,000が色違いであったため返品した。
 15日 春山商会に対する買掛金¥100,000を小切手を振り出して支払った。
 18日 秋谷商事から商品¥374,000を仕入れ、代金は掛けとした。
 23日 先に秋谷商事から仕入れた商品¥34,000が品違いであったため返品した。
 25日 秋谷商事に対する買掛金¥200,000を現金で支払った。

4月	仕		訳	
	借 方	金 額	貸 方	金 額
3日				
5日				
15日				
18日				
23日				
25日				

買 掛 金

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

買 掛 金 元 帳

春 山 商 会

日付	摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
4 3	仕入 送り状#248 掛				
5	色違いのため値引				
15	小切手#113で支払				

秋 谷 商 事

日付	摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
4 18	仕入 送り状#309 掛				
23	品違いのため返品				
25	現金で支払				

問 題 (20点) 次の取引を仕訳し、買掛金勘定および買掛金元帳に転記しなさい。

- 4月3日 春山商会から商品¥155,000を仕入れ、代金は掛けとした。
 5日 先に春山商会から仕入れた商品¥5,000が色違いであったため返品した。
 15日 春山商会に対する買掛金¥100,000を小切手を振り出して支払った。
 18日 秋谷商事から商品¥374,000を仕入れ、代金は掛けとした。
 23日 先に秋谷商事から仕入れた商品¥34,000が品違いであったため返品した。
 25日 秋谷商事に対する買掛金¥200,000を現金で支払った。

4月	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
3日	仕 入	155,000	買 掛 金	155,000
5日	買 掛 金	5,000	仕 入	5,000
15日	買 掛 金	100,000	当 座 預 金	100,000
18日	仕 入	374,000	買 掛 金	374,000
23日	買 掛 金	34,000	仕 入	34,000
25日	買 掛 金	200,000	現 金	200,000

買 掛 金

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
4/3	仕 入			155,000	貸	155,000
5	仕 入		5,000		〃	150,000
15	当座預金		100,000		〃	50,000
18	仕 入			374,000	〃	424,000
23	仕 入		34,000		〃	390,000
25	現 金		200,000		〃	190,000

買 掛 金 元 帳

春 山 商 会

日付	摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
4/3	掛 仕 入		155,000	貸	155,000
5	色違いのため値引	5,000		〃	150,000
15	小切手で支払	100,000		〃	50,000

秋 谷 商 事

日付	摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
4/18	掛 仕 入		374,000	貸	374,000
23	品違いのため返品	34,000		〃	340,000
25	現金で支払	200,000		〃	140,000

問 題 (20点)

下記の当座預金出納帳、売上帳および買掛金元帳の記入にもとづいて、各日付の仕訳を示しなさい。なお、各日付の取引は、下記の各帳簿内にすべて記入されている。勘定科目は、次に示すものを用いること。

当座預金 売 掛 金 買 掛 金 売 上 仕 入 発 送 費

当 座 預 金 出 納 帳

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	1	前 月 繰 越	400,000		借	400,000
	5	福岡商店売上げに係る当店負担送料		5,000	〃	395,000
	10	熊 本 商 店、仕 入 れ		200,000	〃	195,000
	30	大分商店、掛代金支払い		250,000	貸	55,000

売 上 帳

平成31年		摘 要	金 額
1	5	福岡商店 掛	
		A商品 60個 @ ¥5,000	300,000
	15	鹿児島商店 掛	
		B商品 25個 @ ¥6,000	150,000
	20	鹿児島商店 掛戻り	
		B商品 5個 @ ¥6,000	30,000

買 掛 金 元 帳

大 分 商 店

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	1	前 月 繰 越		250,000	貸	250,000
	30	小 切 手 振 出 し	250,000			0

熊 本 商 店

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	10	仕 入 れ		100,000	貸	100,000

取引日	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	5			
	10			
	20			
	30			

問 題 (20点)

下記の当座預金出納帳、売上帳および買掛金元帳の記入にもとづいて、各日付の仕訳を示しなさい。なお、各日付の取引は、下記の各帳簿内にすべて記入されている。勘定科目は、次に示すものを用いること。

当座預金 売 掛 金 買 掛 金 売 上 仕 入 発 送 費

当 座 預 金 出 納 帳

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	1	前 月 繰 越	400,000		借	400,000
	5	福岡商店売上げに係る当店負担発送費		5,000	〃	395,000
	10	熊 本 商 店、仕 入 れ		200,000	〃	195,000
	30	大分商店、掛代金支払い		250,000	貸	55,000

売 上 帳

平成31年		摘 要	金 額
1	5	福岡商店 掛	
		A商品 60個 @ ¥5,000	300,000
	15	鹿児島商店 掛	
		B商品 25個 @ ¥6,000	150,000
	20	鹿児島商店 掛戻り	
		B商品 5 個 @ ¥6,000	30,000

買 掛 金 元 帳

大 分 商 店

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	1	前 月 繰 越		250,000	貸	250,000
	30	小 切 手 振 出 し	250,000			0

熊 本 商 店

平成31年		摘 要	預 入	引 出	借 貸	残 高
1	10	仕 入 れ		100,000	貸	100,000

取引日		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	5	売 掛 金 費	300,000 5,000	売 座 預 上 金	300,000 5,000
	10	仕 入	300,000	当 座 預 金 金	200,000 100,000
	20	売 上	30,000	売 掛 金	30,000
	30	買 掛 金	250,000	当 座 預 金	250,000

問 題 (20点)

次の4月における商品Aに関する次の資料に基づいて、(1)先入先出法により商品有高帳を記入し、4月中の売上原価と4月末商品棚卸高を示しなさい。(2)移動平均法により商品有高帳を記入し、4月中の売上原価と4月末商品棚卸高を示しなさい。なお、商品有高帳の締切りを行う必要はない。

[商品Aに関する資料]

4月1日	前月繰越	数 量	100個	単 価	@ ¥1,200
3日	仕 入	数 量	100個	単 価	@ ¥1,500
12日	売 上	数 量	150個	単 価	@ ¥2,500
18日	仕 入	数 量	200個	単 価	@ ¥1,700
29日	売 上	数 量	150個	単 価	@ ¥2,800

(1) 商 品 有 高 帳
(先入先出法) (商品A)

令 和 XX 年	摘 要	受 入 高			払 出 高			残 高		
		数量 台	単 価 円	金 額 円	数量 台	単 価 円	金 額 円	数量 台	単 価 円	金 額 円
4	1 前月繰越	100	1,200	120,000				100	1,200	120,000
	3 仕 入	100	1,500	150,000				100	1,500	150,000
	12 売 上				100	1,200	120,000			
					50	1,500	75,000	50	1,500	75,000
	18 仕 入	200	1,700	340,000				200	1,700	340,000
	29 売 上				50	1,500	75,000			
					100	1,700	170,000	100	1,700	170,000

売上原価 ¥ 440,000

月末商品棚卸高 ¥ 170,000

(2) 商 品 有 高 帳
(移動平均法) (商品A)

令 和 XX 年	摘 要	受 入 高			払 出 高			残 高		
		数量 台	単 価 円	金 額 円	数量 台	単 価 円	金 額 円	数量 台	単 価 円	金 額 円
4	1 前月繰越	100	1,200	120,000				100	1,200	120,000
	3 仕 入	100	1,500	150,000				200	1,350	270,000
	12 売 上				150	1,350	202,500	50	1,350	67,500
	18 仕 入	200	1,700	340,000				250	1,630	407,500
	29 売 上				150	1,630	244,500	100	1,630	163,000

売上原価 ¥ 447,000

月末商品棚卸高 ¥ 163,000

氏名

(問 題)

得点

問 題 1 (12点)

次の仕入帳と売上帳の記入に基づいて、(1)先入先出法により商品有高帳に記入し、(2)10月中の売上原価と売上総利益を計算するため()内に適当な金額を記入しなさい。なお、商品有高帳の締切りを行う必要はない。

仕 入 帳

売 上 帳

令 XX	和 年	摘 要	金 額
9	3	森ノ宮商店 冷蔵庫 13台 @¥40,000	520,000
	18	龍造寺商店 冷蔵庫 20台 @¥35,000	700,000

令 XX	和 年	摘 要	金 額
9	12	法円坂商店 冷蔵庫 8台 @¥60,000	480,000
	29	清水谷商店 冷蔵庫 20台 @¥65,000	1,300,000

商 品 有 高 帳
(冷蔵庫)

(先入先出法)

令 XX	和 年	摘 要	受 入 高			払 出 高			残 高		
			数 量 台	単 価 円	金 額 円	数 量 台	単 価 円	金 額 円	数 量 台	単 価 円	金 額 円
9	1	前月繰越	10	40,000	400,000						

売上原価の計算

売上総利益の計算

月初商品棚卸高	(¥)
当月商品仕入高	()
合 計	(¥)
月末商品棚卸高	()
売 上 原 価	()

売 上 高	(¥)
売 上 原 価	()
売 上 総 利 益	()

問 題 2 (8点)

次の()の中に帳簿の名称を、()の中に適切な語句または金額を記入しなさい。なお、当店における仕入先は、補助簿の両店以外には存在しない。

<主要簿>

()

買 掛 金

5/ 9 () ()	5/ 1 前月繰越 540,000
15 当座預金 ()	7 () ()
25 () ()	20 " 280,000
31 次月繰越 ()	
()	()

<補助簿>

京都商店

()

奈良商店

5/9返 品 9,000	5/1前月繰越216,000
15支 払 い 627,000	7仕 入 れ520,000
31次月繰越()	
()	()

5/15支払い ()	5/1前月繰越()
25値引き 6,000	20仕 入 れ()
31次月繰越374,000	
()	()

問題 1 (12点)

次の仕入帳と売上帳の記入に基づいて、(1)先入先出法により商品有高帳に記入し、(2)10月中の売上原価と売上総利益を計算するため()内に適当な金額を記入しなさい。なお、商品有高帳の締切りを行う必要はない。

仕 入 帳

売 上 帳

令 XX	和 年	摘 要	金 額
9	3	森ノ宮商店 冷蔵庫 13台 @¥40,000	520,000
	18	龍造寺商店 冷蔵庫 20台 @¥35,000	700,000

令 XX	和 年	摘 要	金 額
9	12	法円坂商店 冷蔵庫 8台 @¥60,000	480,000
	29	清水谷商店 冷蔵庫 20台 @¥65,000	1,300,000

商 品 有 高 帳
(冷蔵庫)

(先入先出法)

令 XX	和 年	摘 要	受 入 高			払 出 高			残 高		
			数 量 台	単 価 円	金 額 円	数 量 台	単 価 円	金 額 円	数 量 台	単 価 円	金 額 円
9	1	前月繰越	10	40,000	400,000				10	40,000	400,000
	3	仕 入	13	40,000	520,000				23	40,000	920,000
	12	売 上				8	40,000	320,000	15	40,000	600,000
	18	仕 入	20	35,000	700,000				20	35,000	700,000
	29	売 上				15	40,000	600,000			
						5	35,000	175,000	15	35,000	525,000

売上原価の計算

月初商品棚卸高	(¥ 400,000)
当月商品仕入高	(1,220,000)
合 計	(¥ 1,620,000)
月末商品棚卸高	(525,000)
売 上 原 価	(1,095,000)

売上総利益の計算

売 上 高	(¥ 1,780,000)
売 上 原 価	(1,095,000)
売 上 総 利 益	(685,000)

問題 2 (8点)

次の()の中に帳簿の名称を、()の中に適切な語句または金額を記入しなさい。なお、当店における仕入先は、補助簿の両店以外には存在しない。

<主要簿>

総勘定元帳

買 掛 金

5/ 9 (仕 入) (9,000)	5/ 1 前月繰越 540,000
15 当座預金 (851,000)	7 (仕 入) (520,000)
25 (仕 入) (6,000)	20 " 280,000
31 次月繰越 (474,000)	
(1,340,000)	(1,340,000)

仕入先元帳
も可

<補助簿>

京都商店

買掛金元帳

奈良商店

5/9返品 9,000	5/1前月繰越216,000	5/15支払い (224,000)	5/1前月繰越(324,000)
15支払い 627,000	7仕入れ520,000	25値引き 6,000	20仕入れ(280,000)
31次月繰越(100,000)		31次月繰越374,000	
(736,000)	(736,000)	(604,000)	(604,000)

氏名 _____

問 題

次の取引が、答案用紙に示されたどの補助簿に記入されるか答えなさい。
なお、解答にあたっては、該当するすべての補助簿の欄に○印を付しなさい。

- 6月7日 岐阜商店から商品¥240,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、
当店負担の引取運賃¥2,500は現金で支払った。
- 12日 東京商店に商品¥78,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- 15日 箱根商店に対する売掛金¥50,000が当座預金口座に振り込まれた。
- 19日 箱根商店に商品¥63,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- 22日 19日に箱根商店に売り渡した商品のうち、¥5,000が返品され、
掛代金から差し引くこととした。
- 29日 東京商店に対する売掛金¥49,000が当座預金口座に振り込まれた。

6月	現金 出納帳	当座預金 出納帳	商品 有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳
7							
12							
15							
19							
22							
29							

問題

次の取引が、答案用紙に示されたどの補助簿に記入されるか答えなさい。
なお、解答にあたっては、該当するすべての補助簿の欄に○印を付しなさい。

- 6月7日 岐阜商店から商品¥240,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、
当座負担の引取運賃¥2,500は現金で支払った。
- 12日 東京商店に商品¥78,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- 15日 箱根商店に対する売掛金¥50,000が当座預金口座に振り込まれた。
- 19日 箱根商店に商品¥63,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- 22日 19日に箱根商店に売り渡した商品のうち、¥5,000が返品され、
掛代金から差し引くこととした。
- 29日 東京商店に対する売掛金¥49,000が当座預金口座に振り込まれた。

<解き方>

まず、仕訳をする。

6月7日	(仕入)	242,500	(買掛金)	240,000
			(現金)	2,500
12日	(売掛金)	78,000	(売上)	78,000
15日	(当座預金)	50,000	(売掛金)	50,000
19日	(売掛金)	63,000	(売上)	63,000
22日	(売上)	5,000	(売掛金)	5,000
29日	(当座預金)	49,000	(売掛金)	49,000

勘定科目に該当する補助簿の欄に印をつける。
仕入と売上については、商品有高帳にも印をつける。

6月	現出納金帳	当座預金出納帳	商有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳
7	○		○		○	○	
12			○	○			○
15		○		○			
19			○	○			○
22			○	○			○
29		○		○			

氏名 _____

問 題 (20点)

次の取引を伝票に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。

9月1日 武庫商店に商品¥250,000を売上げ、代金は現金で受け取った。

9月3日 武庫商店に商品¥400,000を売上げ、代金のうち半額は現金で受取り、
残高は翌月受取りとした。

入 金 伝 票 No. 101 (9月1日)	
勘定科目	金 額

入 金 伝 票 No. 102 (9月3日)	
勘定科目	金 額

振 替 伝 票 No. 301 (9月3日)			
借方科目	金 額	貸方科目	金 額

総 勘 定 元 帳

現 金

1

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

売 掛 金

3

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

売 上

1 4

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

<別解作成用>

次の取引を伝票に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。

9月1日 武庫商店に商品¥250,000を売上げ、代金は現金で受け取った。

9月3日 武庫商店に商品¥400,000を売上げ、代金のうち半額は現金で受取り、残高は翌月受取りとした。

入 金 伝 票 No. 101 (9 月 1 日)	
勘定科目	金 額

入 金 伝 票 No. 102 (9 月 3 日)		振 替 伝 票 No. 301 (9 月 3 日)			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

総 勘 定 元 帳

現 金

1

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

売 掛 金

3

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

売 上

1 4

日付	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高

問 題 (20点)

次の取引を伝票に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。

9月1日 武庫商店に商品¥250,000を売上げ、代金は現金で受け取った。

9月3日 武庫商店に商品¥400,000を売上げ、代金のうち半額は現金で受取り、
残高は翌月受取りとした。

入金伝票 No. 101 (9月1日)	
勘定科目	金額
売 上	250,000

入金伝票 No. 102 (9月3日)	
勘定科目	金額
売掛金	200,000

振替伝票 No. 301 (9月3日)			
借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	400,000	売 上	400,000

総勘定元帳

現 金

1

日付	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9 1	売 上	101	250,000		借	250,000
9 3	売掛金	102	200,000		〃	450,000

売 掛 金

3

日付	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9 3	売 上	301	400,000		借	400,000
〃	現 金	102		200,000	〃	200,000

売 上

14

日付	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9 1	現 金	101		250,000	貸	250,000
9 3	売掛金	301		400,000	〃	650,000

<別解>

次の取引を伝票に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。

9月1日 武庫商店に商品¥250,000を売上げ、代金は現金で受け取った。

9月3日 武庫商店に商品¥400,000を売上げ、代金のうち半額は現金で受取り、残高は翌月受取りとした。

入 金 伝 票 No. 101 (9 月 1 日)	
勘定科目	金 額
売 上	250,000

入 金 伝 票 No. 102 (9 月 3 日)		振 替 伝 票 No. 301 (9 月 3 日)			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 上	200,000	売掛金	200,000	売 上	200,000

総 勘 定 元 帳
現 金

1

日付		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9	1	売 上	101	250,000		借	250,000
	3	売 上	102	200,000		〃	450,000

売 掛 金

3

日付		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9	3	売 上	301	200,000		借	200,000

売 上

1 4

日付		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
9	1	現 金	101		250,000	貸	250,000
	3	現 金	102		200,000	〃	450,000
	〃	売掛金	301		200,000	〃	650,000

氏名 _____

得点

問題1 次の各取引を指示に従って、伝票に記入しなさい

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

(A) いったん全額を掛取引きとして起票する方法

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

(B) 取引を分解して起票する方法

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

(A) いったん全額を掛取引きとして起票する方法

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

(B) 取引を分解して起票する方法

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問題2 次の各取引について、入金または出金伝票の記入に応じて振替伝票を作成しなさい。ただし、いったん全額を掛取引きとして起票する方法と、取引を分解して起票する方法のいずれを採用しているかについては、各自判断すること。

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	20,000				

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 掛 金	50,000				

問題1 次の各取引を指示に従って、伝票に記入しなさい

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

(A) いったん全額を掛取引きとして起票する方法

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
買 掛 金	20,000	仕 入	220,000	買 掛 金	220,000

(B) 取引を分解して起票する方法

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	20,000	仕 入	200,000	買 掛 金	200,000

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

(A) いったん全額を掛取引きとして起票する方法

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 掛 金	50,000	売 掛 金	350,000	売 上	350,000

(B) 取引を分解して起票する方法

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 上	50,000	売 掛 金	300,000	売 上	300,000

問題2 次の各取引について、入金または出金伝票の記入に応じて振替伝票を作成しなさい。ただし、いったん全額を掛取引きとして起票する方法と、取引を分解して起票する方法のいずれを採用しているかについては、各自判断すること。

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	20,000	仕 入	200,000	買 掛 金	200,000

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 掛 金	50,000	売 掛 金	350,000	売 上	350,000

氏名 _____

問題1 (8点)

次の各取引の伝票記入について、空欄にあてはまる適切な語句または金額を記入しなさい。ただし、いったん全額を掛取引きとして起票する方法と、取引を分解して起票する方法のいずれを採用しているかについては、取引ごとに異なるため、各伝票の記入から各自判断すること。

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
		仕 入	220,000		220,000

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 上					

問題2 (12点)

次の各取引の伝票記入について、空欄にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。なお、当店では3伝票制を採用しており、商品売買取引の処理は3分法により行っている。

- (1) 商品を¥400,000で仕入れ、代金のうち¥100,000を現金で支払い、残高は掛けとした。

() 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
買 掛 金					

- (2) 商品を¥550,000で売り上げ、代金は掛けとした。また、顧客負担の送料¥4,000を現金で支払い () 伝票で掛け代金に含める記録を行った。

() 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問題1 (8点)

次の各取引の伝票記入について、空欄にあてはまる適切な語句または金額を記入しなさい。ただし、いったん全額を掛取引きとして起票する方法と、取引を分解して起票する方法のいずれを採用しているかについては、取引ごとに異なるため、各伝票の記入から各自判断すること。

- (1) 商品を¥220,000で仕入れ、代金のうち¥20,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
買 掛 金	20,000	仕 入	220,000	買 掛 金	220,000

<解法へのヒント>取引を仕訳にすると (仕 入) 220,000 (現 金) 20,000
(買掛金) 200,000

空欄の伝票を仕訳にすると (仕 入) 220,000 () 220,000
() (現 金)

- (2) 商品を¥350,000で売り渡し、代金のうち¥50,000については現金で受け取り、残額は掛けとした。

入 金 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 上	50,000	売 掛 金	300,000	売 上	300,000

<解法へのヒント>取引を仕訳にすると (現 金) 50,000 (売 上) 350,000
(売掛金) 350,000

空欄の伝票を仕訳にすると () ()
(現 金) (売 上)

問題2 (12点)

次の各取引の伝票記入について、空欄にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。なお、当店では3伝票制を採用しており、商品売買取引の処理は3分法により行っている。

- (1) 商品を¥400,000で仕入れ、代金のうち¥100,000を現金で支払い、残高は掛けとした。

(出 金) 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
買 掛 金	100,000	仕 入	400,000	買 掛 金	400,000

<解法へのヒント>取引を仕訳にすると (仕 入) 400,000 (現 金) 100,000
(買掛金) 300,000

空欄の伝票を仕訳にすると () ()
買掛金の記入→出金伝票 (買掛金) (現 金)

- (2) 商品を¥550,000で売り上げ、代金は掛けとした。また、顧客負担の送料¥4,000を現金で支払い (出 金) 伝票で掛け代金に含める記録を行った。

(出 金) 伝 票		振 替 伝 票			
勘定科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
売 掛 金	4,000	売 掛 金	550,000	売 上	550,000

<解法へのヒント>取引を仕訳にすると (売掛金) 554,000 (売 上) 550,000
(現 金) 4,000

氏名 _____ (問 題)

得点

問 題 以下の各伝票にもとづいて、仕訳日計表を作成しなさい。

出 金 伝 票		
建	物	300,000

入 金 伝 票		
資	本 金	300,000

出 金 伝 票		
当 座 預 金		400,000

入 金 伝 票		
借	入 金	500,000

出 金 伝 票		
仕	入	40,000

入 金 伝 票		
売	上	50,000

振 替 伝 票			
備	品	50,000	当 座 預 金 50,000

振 替 伝 票			
当 座 預 金	50,000	売	上 50,000

振 替 伝 票			
仕	入	75,000	買 掛 金 75,000

振 替 伝 票			
売	掛 金	90,000	売 上 90,000

仕 訳 日 計 表
令和XX年11月23日

(単位：円)

借	方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			売 掛 金			
			備 品			
			建 物			
			買 掛 金			
			借 入 金			
			資 本 金			
			売 上			
			仕 入			

問 題 以下の各伝票にもとづいて、仕訳日計表を作成しなさい。

出 金 伝 票		
建	物	300,000

入 金 伝 票		
資	本 金	300,000

出 金 伝 票		
当 座 預 金		400,000

入 金 伝 票		
借 入 金		500,000

出 金 伝 票		
仕 入		40,000

入 金 伝 票		
売 上		50,000

振 替 伝 票			
備 品	50,000	当 座 預 金	50,000

振 替 伝 票			
当 座 預 金	50,000	売 上	50,000

振 替 伝 票			
仕 入	75,000	買 掛 金	75,000

振 替 伝 票			
売 掛 金	90,000	売 上	90,000

仕 訳 日 計 表
令和XX年11月23日

(単位：円)

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
850,000		現 金		740,000
450,000		当 座 預 金		50,000
90,000		売 掛 金		
50,000		備 品		
300,000		建 物		
		買 掛 金		75,000
		借 入 金		500,000
		資 本 金		300,000
		売 上		190,000
115,000		仕 入		
1,855,000				1,855,000

(チェック099解法へのヒント)
各伝票を仕訳に直すと、次のようになるので、それを各勘定に合計転記すればよい。

仕		訳	
借 方	金 額	貸 方	金 額
(現 金)	300,000	(資 本 金)	300,000
(現 金)	500,000	(借 入 金)	500,000
(現 金)	50,000	(売 上)	50,000
(建 物)	300,000	(現 金)	300,000
(当 座 預 金)	400,000	(現 金)	400,000
(仕 入)	40,000	(現 金)	40,000
(備 品)	50,000	(当 座 預 金)	50,000
(当 座 預 金)	50,000	(売 上)	50,000
(仕 入)	75,000	(買 掛 金)	75,000
(売 掛 金)	90,000	(売 上)	90,000

仕 訳 日 計 表
令和XX年12月31日

(単位：円)

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
850,000		現 金		740,000
450,000		当 座 預 金		50,000
90,000		売 掛 金		
50,000		備 品		
300,000		建 物		
		買 掛 金		75,000
		借 入 金		500,000
		資 本 金		300,000
		売 上		190,000
115,000		仕 入		
1,855,000				1,855,000